

協議会結果及び議事録

会議名称	令和 7 年度第 1 回 長崎市公共交通活性化協議会		
日時	R7/8/25(月)	場所	長崎市役所 15 階 中会議室
出席者	別紙名簿のとおり		
議題	(1)令和 6 年度長崎市地域公共交通計画事業評価について (2)長崎市地域公共交通計画の改定について (3)その他		
結果	(1)長崎市地域公共交通計画事業評価について ・評価結果に対する意見は特になし。 (2)長崎市地域公共交通計画の改定について 計画の改定にあたり、以下の 4 つの視点を盛り込み、委員からのご意見も踏まえ、計画改定作業を行う。 ア 担い手の確保 イ 地域の共助による移動手段の確保 ウ 主要バス停の待合環境改善 エ まちづくりと観光による移動需要の促進 (3)その他 ・令和 7 年度の会計監査委員として、長崎バス労働組合を選任する報告をした。		
議題(1)	令和 6 年度長崎市地域公共交通計画事業評価について		
	委員からのご意見	事務局の回答	
	長崎大学 指標 4「公共交通の利用者数」について、この数字には県外から観光や仕事で来られた方々の人数も含まれているのか？	県外からの訪問客数も含めた利用客数となっている。	
	長崎運輸支局 指標 5「公共交通が利用しやすいと感じる市民の割合」について、この数字の評価基準はどのように算出しているのか？	毎年実施している市民アンケートの結果に基づいて算出している。	
	長崎自動車(株) 指標 5 については、共同経営計画による需給調整を行うことは満足度を向上させることと相反することだと考えている。 事業者としては、満足度を維持するために、バスロケーションシステムの導入等のサービス面を向上させながら、効率化を図りたいと考えている。	路線の効率化は痛みを伴うものと認識している。そのため、利便性向上の施策を並行して実施し、公共交通全体の満足度維持を目標として掲げている。	

議題(2)	長崎市地域公共交通計画の改定について	
	委員からのご意見	事務局の回答
	長崎自動車(株) 利用者数は、営業エリア内の生産年齢人口と相関関係がある。10年後の利用者数は、現在から2割弱減少すると予測している。一方で、バス運転士の10年後の予測では6割程度に減少すると見込んでおり、運転士の確保がままならなければ、この乖離部分が減便や廃止につながると考えているので、行政のお力もお借りしたいと思っている。	新たな支援の方法も含めて担い手不足の改善に向けて努力したいと考えている。
	長崎バスグループ労働組合 運転士不足だけではなく、整備士や事務職も不足しており、そちらについても行政に協力をお願いしたい。	整備士など運行全体の担い手不足も認識しているところであり、まずは事業者がどのような取り組みを進めるのか、それに対し長崎市がどのような支援を行えるのかを考えていきたい。
	長崎振興局 主要バス停の待合環境改善は、市内のどのくらいの数を対象と考えているのか。	利用者が多いバス停を主要なバス停としたいと想定しているが、具体的な対象や整備状況は、今後の調査で整理していく。
	長崎市タクシー協会 今回の改定で、国が整理している公共交通空白地域の定義と長崎市のバス空白地域をどのように整理しようと考えているのか。	長崎市として公共交通のどのようなサービスが行き届いていないかなどを整理し、それによってどのように空白地と定義するか検討したいと考えている。
	長崎運輸支局 「共助」による移動手段の確保に関して、具体的な地域や取り組みのイメージはあるのか？	現計画に記載の公共交通ネットワークの将来像のとおり周辺部を念頭に「共助」による移動手段を検討しているが、まだ具体的な地域のイメージはない。今後も引き続き検討していきたいと思っている。
	長崎市保健環境自治連合会 長崎スタジアムシティの開業に伴い発生している渋滞について、改善の余地はないか。 公安委員会 関係者の皆様と協力しながら、取り組んでいる。警察としては、信号の調整や、道路情報版を利用した情報提供で交通渋滞の緩和に取り組んでいる。	関係課に意見を共有する。